

エントリー標準タイムについて

日頃より日本ライフセービング協会（JLA）の競技会運営にご協力いただき感謝いたします。さて、第 11 回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会のエントリー標準タイムは以下の通りです。エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示し、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイム以下であることが条件です。また、エントリー標準タイムは、「当該種目と同様の競技形式」ですのでご注意ください。エントリー標準タイムを設定することにより、競技会運営上、競技者や競技役員への負担が軽減されるとともに、全日本選手権として競技レベルの向上が期待されます。

■第 11 回（2019 年度）全日本学生プール競技選手権のエントリー標準タイム

<種目別エントリー標準タイム>

種目（個人種目のみ）	エントリー標準タイム	
	男子	女子
200m 障害スイム	2' 50" 00	3' 20" 00
50m マネキンキャリー	50" 00	1' 00" 00
100m レスキューメドレー	1' 40" 00	2' 10" 00
100m マネキンキャリー・ウイズフィン	1' 30" 00	1' 50" 00
100m マネキントウ・ウイズフィン	1' 30" 00	1' 40" 00
200m スーパーライフセーバー	3' 20" 00	3' 50" 00

<注意>

1. チーム種目および特別種目にはエントリー標準タイムを設けません。
2. 過去の JLA 主催または公認競技会の記録を申告する場合は、2017 年度以降の競技会の記録であれば認められます。
3. エントリータイムは自己申告とします。JLA の過去の主催または公認競技会の記録以外、たとえばクラブの練習会などで測定した記録も認められます。エントリータイムの申告は、組（ヒート）を決定するための資料としますので慎重に申告してください。
4. 競技会の記録が、エントリー標準タイムから著しく遅い場合、チーフレフリーの判断により競技者本人およびチーム代表者に対して処分を検討することがありますので注意してください。

以 上